

東洋演劇演習

京劇

特別公演

指導・演出

袁英明
文学博士

桜美林大学准教授
元上海京劇院主演女優
現北京京劇院梅蘭芳京劇團招聘主演女優
梅蘭芳の梅派芸術繼承人

殷秋瑞

桜美林大学兼任講師
元中国国家京劇院俳優

日時 二〇一三年十二月十三日・十四日

会場 桜美林大学プルヌスホール



京劇とは

東洋演劇の代表的な伝統舞台芸術の一つであり、世界無形文化遺産に登録されている中国の国劇である。京劇は文学、美術、音楽、演劇、歌唱、舞踊、立回りなど多様な芸術形式と内容を含む総合芸術であり、中国の伝統的な道徳観および倫理観が表象され、中国文化が凝縮されている舞台芸術である。それは型および様式美を追求してきた東洋伝統演劇の特徴を表し、見得や隈取、トンボを切るなど、日本の歌舞伎とも類似性を持つ。また、象徴的な表現芸術としては日本の能楽とも共通している。

演目解説

「白蛇伝・盗仙草」

中国の有名な民間伝説『白蛇伝』の一節である。死んだ夫を生き返らせるには、崑崙山(こんろんざん)に生える仙草靈芝草(れいしそう)を採る他に方法はない。靈芝草は南極仙人の管轄下に在り、人間のために採取することは許されない。そこで、白素貞(はくそてい)はこっそり盗みに行くが、南極仙人のお使いである鶴童(かくどう)と鹿童(ろくどう)に見つかりて逃れたため、二人を相手に大立ち回りを演ずる。

「拾玉鐲」

明代の物語。孫玉姣(そんぎょこう)は鶏の世話をしながら門のそばで刺繍をしていると、ハンサムな若者、傅朋(ふほう)が通りかかる。互いに一目ぼれした二人。傅朋は恋心の証にと、門前にそっと玉の腕輪を置いてゆく。玉姣はこれを見つけて大喜び、ハンカチを拾うふりをして、そっと腕輪を拾う。さて、このやりとりの一部始終を物陰で見ていた隣家の劉おばさんは、玉姣をからかうが、最後には二人の仲を取り持つために、玉姣の刺繍のハンカチを預かり、傅朋のもとへ縁結びにでかけてゆく。パントマイムを中心とした笑える人情劇である。

「三岔口」

宋代の物語。三岔口とは三叉路という意味である。この三叉路に面した場所にある宿屋で真夜中、二人の男が死闘を繰り広げるという出し物で、『楊家将演義』(「楊家の武将の物語」)という長い物語の一節である。宿屋の主人・劉利華(りゅうりか)は、焦贊(しょうざん)という名前の楊家の豪傑をかくまっていた。その宿屋に、偶然、焦贊の親友である任堂恵(じんだうけい)が泊まる。実は、任堂恵は焦贊を助けるために旅してきたのだが、宿屋の主人は、てっきり任堂恵が焦贊を殺しに来た刺客だと誤解してしまう。夜更け、宿屋の主人は任堂恵の部屋に忍び込み殺そうとし、二人は何も見えない闇のなかで戦いを始める。最後に焦贊と宿屋の主人の妻が駆けつけて、みんなが実は仲間であったことがわかり、めでたく幕となる。

「秋江」

明代の伝奇『玉簪記』に取材した作品と言われている。若い書生潘必正(はんひっせい)は、小母の尼寺で科擧の試験勉強をしていた。やがて若い尼僧の陳妙常(ちんみょうじょう)と知り合い、二人は恋に落ちる。小母は二人の行く末を案じ潘必正を都に旅立たせる。それを知った陳妙常は寺を飛び出て、潘必正を追いかけて秋江まで来るが彼はすでに船で出発した後。そこで、陳妙常は老船頭に頼んで彼の船を追いかけてもらうようにする。登場人物は陳妙常と船頭の二人だけだが、道を急ぐ純情な尼をわざとからかう老人とのやりとりは絶妙である。最後は見事な梶さばきで追いかけてゆくが、舟の上でストーリーが展開し、道具を使わずに二人の体の動きだけで河面に揺れる舟を表現する俳優の演技力が注目される。

「楊門女将」

「三岔口」と同様に『楊家将演義』の一節であり、北宋の物語である。武門の名家・楊家の三代目当主・楊宗保は辺境を鎮守していた。その楊宗保が西夏(せいいか)の伏兵の矢によって殉死したことが伝えられ、楊宗保に代わって辺境に出征する楊門の女将軍たちは、天波府で戦いの準備をしている。楊宗保の妻穆桂英(ぼくけいえい)は楊家唯一の男子となった息子・楊文广(ようぶんこう)を家に残そうとするが、楊文广は出征を志願する。元帥は楊文广に穆桂英と手合わせし、勝てたら従軍を許すと裁定する。息子の気持ちを嬉しく感じた穆桂英は、腕前を確かめたうえで勝たせる。西夏軍との緒戦は楊家軍の大勝だった。西夏の軍師・魏古(ぎこ)は王文に籠城作戦をとろうと進言する。一方、穆桂英は夫楊宗保が険しい葫蘆谷(ころこく)に残したに違いない棧道を見つけて奇襲する作戦を立てる。激闘の末に西夏軍を撃破する。戦勝の喜びに凱歌をあげる楊門女将たちであった。

出演

秋山侑紀、東越絵、天野愛、新井将、伊藤勇太、植嶋宇、衛藤俊和、蛭名和輝、鬼丸三千代、折田皇明、熊木志保、倉光亮輔、齋藤元太、白石るりか、新海雄大、新野一希、菅原有紗、鈴木郁海、鈴木翔太、鈴木由理、鈴木玲、瀬戸貴彦、千葉慧、高橋良輔、田谷絵里香、角田悠、遠田香苗、中野智久、中村紫乃、中村つぐみ、袴田庄司、菽上恭行、林赴志、林亮輔、春原由果、福森柚、正木新大、松原伶奈、宮下真弥、宮島翔太、三輪沙羅、百瀬雄貴、山崎謙、渡辺奏(五十音順)

楽師

洪剛、葉向東、金虹、山下輝彦、王明君、銭騰浩、関潔沁、李海波

スタッフ

舞台監督：橋爪一将
照明：有馬麻理香
照明アドバイザー：金英秀(桜美林大学准教授/文学座)
音響：吉田明日香
舞台美術：小林あゆみ
宣伝美術：小林あゆみ
衣裳：千葉慧
メイク着付け：日本京劇研究会
制作：関彩乃
制作アドバイザー：花房理奈

日程 全3ステージ

2013年 12月13日(金) 18:30開演
12月14日(土) 13:00開演
18:00開演

	12月13日 18:30開演	12月14日 13:00開演	12月14日 18:00開演
盗仙草	●		●
拾玉鐲	●	●	
三岔口	●※	●	
秋江			●
楊門女将	●	●	●

※13日の「三岔口」は短縮版となります

料金

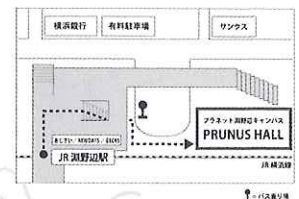
2013年10月13日(日)発売開始

一般 1000円 セット券(※)
学生 500円 一般 1500円
学生 700円 (※)2ステージ分のチケットを
セットでご購入いただけます。
ステージの組み合わせは自由。

当日券各200円増
学生は当日受付にて要学生証提示
ARTS使用不可

会場

桜美林大学
プルヌスホール



予約・お問い合わせ

042-704-7013(電話・FAX 18時~21時)
kyougeki_2013@yahoo.co.jp

ご予約の際は件名を「チケット予約」とし、①お名前②フリガナ
③観劇希望日時④券種⑤枚数⑥連絡先を明記の上、上記アドレス
までお申込みください。
こちらからの返信をもってご予約完了となります。